

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和4年度 滋賀県がん診療連携協議会 第30回 地域連携部会																																																							
開 催 日 時	令和4年6月13日(月)～20日(月)																																																							
開 催 場 所	大津赤十字病院 6階会議室 →新型コロナウイルス感染拡大防止のためメールにて開催																																																							
出 席 者	<p>【部会員】</p> <table border="0"> <tr> <td>大津赤十字病院</td> <td>廣瀬 哲朗 (部会長)</td> </tr> <tr> <td>滋賀医科大学医学部附属病院</td> <td>村田 聡 (副部会長)</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>吉田 徹 (副部会長)</td> </tr> <tr> <td>滋賀医科大学医学部附属病院</td> <td>小倉 知子</td> </tr> <tr> <td>大津赤十字病院</td> <td>森田 美砂</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>奥村 しづ子</td> </tr> <tr> <td>公立甲賀病院</td> <td>中右 雅之</td> </tr> <tr> <td>彦根市立病院</td> <td>林 栄一</td> </tr> <tr> <td>市立長浜病院</td> <td>上田 修吾</td> </tr> <tr> <td>高島市民病院</td> <td>中島 研郎</td> </tr> <tr> <td>市立大津市民病院</td> <td>小池 忍</td> </tr> <tr> <td>淡海医療センター</td> <td>戸川 剛</td> </tr> <tr> <td>済生会滋賀県病院</td> <td>増山 守</td> </tr> <tr> <td>近江八幡市立総合医療センター</td> <td>中野 且敬</td> </tr> <tr> <td>長浜赤十字病院</td> <td>原田 吉將</td> </tr> <tr> <td>東近江総合医療センター</td> <td>赤堀 浩也</td> </tr> <tr> <td>滋賀県医師会</td> <td>樋上 雅一</td> </tr> <tr> <td>滋賀県医師会</td> <td>高橋 健太郎</td> </tr> <tr> <td>滋賀県歯科医師会</td> <td>吉田 智一</td> </tr> <tr> <td>滋賀県保健所長会</td> <td>寺尾 敦史</td> </tr> <tr> <td>滋賀県薬剤師会</td> <td>丹波 卯子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県看護協会</td> <td>小川 薫子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県歯科衛生士会</td> <td>新 康子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td> <td>菊井 津多子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県健康医療福祉部</td> <td>田村 奈那子</td> </tr> <tr> <td>滋賀県立総合病院</td> <td>米澤 寿裕</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table border="0"> <tr> <td>大津赤十字病院</td> <td>仲川 直行</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(敬称略)</p>		大津赤十字病院	廣瀬 哲朗 (部会長)	滋賀医科大学医学部附属病院	村田 聡 (副部会長)	滋賀県立総合病院	吉田 徹 (副部会長)	滋賀医科大学医学部附属病院	小倉 知子	大津赤十字病院	森田 美砂	滋賀県立総合病院	奥村 しづ子	公立甲賀病院	中右 雅之	彦根市立病院	林 栄一	市立長浜病院	上田 修吾	高島市民病院	中島 研郎	市立大津市民病院	小池 忍	淡海医療センター	戸川 剛	済生会滋賀県病院	増山 守	近江八幡市立総合医療センター	中野 且敬	長浜赤十字病院	原田 吉將	東近江総合医療センター	赤堀 浩也	滋賀県医師会	樋上 雅一	滋賀県医師会	高橋 健太郎	滋賀県歯科医師会	吉田 智一	滋賀県保健所長会	寺尾 敦史	滋賀県薬剤師会	丹波 卯子	滋賀県看護協会	小川 薫子	滋賀県歯科衛生士会	新 康子	滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子	滋賀県健康医療福祉部	田村 奈那子	滋賀県立総合病院	米澤 寿裕	大津赤十字病院	仲川 直行
大津赤十字病院	廣瀬 哲朗 (部会長)																																																							
滋賀医科大学医学部附属病院	村田 聡 (副部会長)																																																							
滋賀県立総合病院	吉田 徹 (副部会長)																																																							
滋賀医科大学医学部附属病院	小倉 知子																																																							
大津赤十字病院	森田 美砂																																																							
滋賀県立総合病院	奥村 しづ子																																																							
公立甲賀病院	中右 雅之																																																							
彦根市立病院	林 栄一																																																							
市立長浜病院	上田 修吾																																																							
高島市民病院	中島 研郎																																																							
市立大津市民病院	小池 忍																																																							
淡海医療センター	戸川 剛																																																							
済生会滋賀県病院	増山 守																																																							
近江八幡市立総合医療センター	中野 且敬																																																							
長浜赤十字病院	原田 吉將																																																							
東近江総合医療センター	赤堀 浩也																																																							
滋賀県医師会	樋上 雅一																																																							
滋賀県医師会	高橋 健太郎																																																							
滋賀県歯科医師会	吉田 智一																																																							
滋賀県保健所長会	寺尾 敦史																																																							
滋賀県薬剤師会	丹波 卯子																																																							
滋賀県看護協会	小川 薫子																																																							
滋賀県歯科衛生士会	新 康子																																																							
滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子																																																							
滋賀県健康医療福祉部	田村 奈那子																																																							
滋賀県立総合病院	米澤 寿裕																																																							
大津赤十字病院	仲川 直行																																																							
議 事 概 要	1. 滋賀県がん地域連携パス運用状況について ○滋賀県がん地域連携パス運用状況 登録件数について、【資料1-1】は、2010年4月～2022年3月末のがんパス運用登録一覧表である。現在までにバリエーションや5年経過し、パス運用が終了しているものも含まれるが、合計2,861件、登録されている。 年度別にグラフ化したもの【資料1-2】では、昨年度(2021年度)は全体の登録件																																																							

数は202件となり、減少傾向である。詳細に見てみると【資料1-3】、胃がんの進行期パスが2020年度 13件 → 2021年度 23件と増加しているが、大腸がんの進行期パスが2020年度68件→2021年度54件、乳がんパスが2020年度10件→2021年度1件と減少している。

施設別【資料1-4】では、前年度と比較し、10件以上増加した施設は、市立長浜病院、東近江総合医療センターであった。なお、10件以上減少しているのは、滋賀医科大学附属病院、長浜赤十字病院であった。

○5年経過、バリエーションについて

5年経過、パス中止件数について（【資料2-1】）は、5年経過したものは818件、バリエーションとなりパス中止したものは、573件と全体の20.0%となっている。

パス中止のものを、胃がん・大腸がん、それぞれ「早期」「進行期」に分け、より詳細にみると（【資料2-2】）、胃がん進行期パスは中止率37.4%となり、再発経過を反映しているのか非常に高い。パス中止までの平均日数は、早期がんパスが長く、進行期がんパスはその約半分の日数となっている。

理由（【資料2-3、2-4】）は、早期がんパスについては、胃がん・大腸がん共に“患者・家族の都合”が約半数を占めており、この原因として考えられるのは、早期がんの場合、数年間、術後フォローで問題なく過ごされるとパススケジュールに則った受診をされなくなる患者さんが一定数存在すると考えられる。また、患者さん・ご家族の高齢化に伴い通院が困難となる場合も見受けられる。

進行期がんパスは、「再発・転移」がもっとも多くを占めている。ただ、連携診療が一旦途絶えても、「私のカルテ」の使用を継続していただけているようになっている。

◎各施設からの意見は以下のとおり

（滋賀医科大学医学部附属病院・村田）

特にございません。

（滋賀県立総合病院・吉田）

とくにありません。

（滋賀医科大学医学部附属病院・小倉）

病院・疾患により大きな差がありますが、全体としては年々登録減少傾向で、当院も減少傾向になっております。

（大津赤十字病院・森田）

がん地域連携パス登録件数の減少はコロナによる受診率低下の影響もあるでしょうか。

当院の院内がん登録件数、ステージ別件数から考えると、地域連携パスの登録件数比は少ないですね。長浜赤十字病院の件数が多く、これは医師の理解や認識、取り組みによるものでしょうか。

(滋賀県立総合病院・奥村)

パス使用が増加している施設と減少している施設の違いは何か、良い取り組みはあるのかなど個人的に興味がありました。

(公立甲賀病院・中右)

私の前任地は大津市民病院～2015.12月、当院には2016年1月より勤務しております。担当分野は消化器外科ですが、赴任当初より当院は消化器癌での利用はありませんでした。

(市立長浜病院・上田)

病院によってパスの登録件数に大きな差があるが、導入する基準に差があるのはいか。

(高島市民病院・中島)

特にありません。

(市立大津市民病院・小池)

パス運用状況について、バリエーションによるパス中止が進行期癌では「再発・転移」が最も多くなっているのはパスが大変うまく機能しているためで、ありがたいと思われま。逆に、早期癌の「患者・家族都合」が多いのは、そもそも連携パスがこのような例を減らすのを目的の一つにしていると考えれば、残念な結果です。しかし、ここを減らすためには個別の詳細な事情を分析する必要がありそうで、情報収集事態が困難なのかもしれません。

(近江八幡市立総合医療センター・中野)

当院の癌パス件数が減少傾向にあることを認識できました。再度、登録件数を増やすよう努力して参ります。

(長浜赤十字病院・原田)

特にありません。

(東近江総合医療センター・赤堀)

施設によって増加傾向な施設と、ピーク時(2016年度)と比べて減少傾向の施設に分かれているようですが、減少傾向の施設が多いのが気になります。

(滋賀県医師会・高橋)

登録件数は2016年をピークとして減少傾向にあるが、2021年の減少はコロナの影響があるのか否かの考察が欲しい。同様に施設別の10件以上減少している施設も病床数等の変更でコロナの影響があるのでは? 2022年はCOVID-19は下げ止まりの感じはあるも、医療の逼迫化も解消しつつあり、感染症前に戻りつつある。今後の対策を練る上でも、コロナの影響による差なのかどうかの検討が必要と思われる。

(滋賀県歯科医師会・吉田)

特にありません。

(滋賀県保健所長会・寺尾)

特に意見なし

(滋賀県薬剤師会・丹波)

わかりやすくまとめていただいております。特にありません。

(滋賀県看護協会・小川)

感想ですが、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、がん検診の受診者の減少や地域の医療機関への早期の受診行動が遅れる(多少具合悪くても不急であれば受診せず様子を見ている)、また、必要な経過観察の受診抑制(感染が怖い、家族の協力が得られない)なども影響があるのではないかと感じました。

(滋賀県歯科衛生士会・新)

特にありません。

(滋賀県がん患者団体連絡協議会・菊井)

特になし

(滋賀県健康医療福祉部・田村)

特になし

(滋賀県立総合病院・米澤)

特にありません。

○バリエーションシートについて

また、前回事務局より提案をさせていただいたバリエーション報告様式の理由において、1.患者身体の異常(5)その他に『①死亡(□本疾患によるもの □別疾患 疾患名:)』を追記させていただいたが、転居やサーベイランスより他疾患の治療や療養が優先される場合が記載するところがないとご意見をいただいていたので、(4)併存疾患関連に『②他疾患の治療が優先されるため』、3.その他に『②転居』を追記した。また、D社会要因の『①通院の交通手段が確保できなかった』を『①通院することが困難になった(交通手段、遠方のため、など』の表記に各がんのバリエーション報告様式を【資料3】のように変更したいので、部会員より、ご意見を頂戴したい。

◎各施設からの意見は以下のとおり

(滋賀医科大学医学部附属病院・村田)

多くのご検討ありがとうございました。

(滋賀県立総合病院・吉田)

とくにありません。

(滋賀医科大学医学部附属病院・小倉)

ご提案いただいた内容で特に異論はございません。

(大津赤十字病院・森田)

A患者家族要因で、“症状の悪化に伴い通院することが困難になった”があげられるのではないかと思います。

(滋賀県立総合病院・奥村)

特にありません。

(公立甲賀病院・中右)

なし

(市立長浜病院・上田)

なし

(高島市民病院・中島)

特にありません。

(市立大津市民病院・小池)

バリアンス報告様式の「他疾患治療優先」「転居」「通院困難」の各項目は有用で、使
いやすくなったのではないかと思います。

(近江八幡市立総合医療センター・中野)

ご指摘の変更でよいと考えます。

(長浜赤十字病院・原田)

よいかと思います。

(東近江総合医療センター・赤堀)

提示いただいた変更でよいかと思います。

(滋賀県医師会・高橋)

変更した内容で問題ないと思われる。

(滋賀県歯科医師会・吉田)

特にありません。

(滋賀県保健所長会・寺尾)

特に意見なし

(滋賀県薬剤師会・丹波)

患者の意思（治療拒否）でのバリアンス項目と服薬継続の拒否や、服薬継続困難にな
った等、服薬に関する内容はなくてもよいでしょうか？

→次回の地域連携部会の議題にあげさせていただきます。（事務局）

(滋賀県看護協会・小川)

特にありません。

直接理由ではないけれども、この間は直接理由の遠因に上記（コロナ禍で受診を控える
動き）のような影響があるかとは思っています。

(滋賀県歯科衛生士会・新)

記入しやすく変更されているので、問題ないかと思います。

(滋賀県がん患者団体連絡協議会・菊井)

特になし

(滋賀県健康医療福祉部・田村)

特になし
(滋賀県立総合病院・米澤)
特にありません。

2. 地域連携部会 今年度予定について

・アクションプランシートについて 【資料4】

今年度の目標として、がんパスの登録件数を年間200件（前年度並み）とする。

◎各施設からの意見は以下のとおり

(滋賀医科大学医学部附属病院・村田)

令和4年度 実施計画（年間スケジュール）の縦軸（実施月）が令和3年度となっていますので、御修正願います。

→申し訳ございません。修正しました。（事務局）

(滋賀県保健所長会)

地域連携パスの活用件数が徐々に減少しているのが気になります。

現状に合わせての数字ですが、目標としてはどうでしょうか。

3. その他

◎各施設からの意見は以下のとおり

(滋賀医科大学医学部附属病院・村田)

・パスワードキンググループ（WG）について

5大がんパスWG、前立腺がんパスWG、緩和ケアパスWGに対して、それぞれ、何の検討を依頼されているのか。いつまでにその検討結果の報告を求めるのか。パスWGのメンバー。これらを滋賀県がん診療連携協議会部員に教えていただきたいと思えます。

→5大がん地域連携パスWG：早期がん（胃・大腸）のパスを、現行のガイドラインに沿った内容への改訂を検討しております。7月にWGを実施予定（メール開催）です。

前立腺がん地域連携パスWG、緩和ケア地域連携パスWG：今年度のWG開催に向けて、各施設に現状報告や現在のパスの問題点等のアンケートを実施しました。この回答を基に、前立腺がん地域連携パスWG（9月開催予定）、緩和ケア地域連携パスWG（10月開催予定）を計画予定です。

なお、WGメンバーを添付させていただいておりますので、ご確認ください。

（事務局）

(大津赤十字病院・森田)

かかりつけ医が変更になる場合はバリエーション発生になるのでしょうか？例えば、今までは近隣のかかりつけ医に受診していたが、症状の悪化に伴い受診困難になった。し

	<p>かしかかりつけ医は訪問診療をしていない場合、かかりつけが変更になる場合。 →変更される診療所等ががん治療連携指導料の施設基準の届け出をされている(もしくは届け出予定がある)場合は、パス継続可能です。(事務局)</p> <p>(滋賀県立総合病院・奥村) 今年度より担当し、適切な役割を担えないかと思いますが、自己研鑽に努めて参りたいと思います。よろしくお祈いします。</p> <p>(市立長浜病院・上田) 現状は、ステージⅡ・Ⅲの患者が対象になっているが、ステージⅣの患者こそかかりつけ医との連携が必要ではないか。</p> <p>(高島市民病院・中島) 今年度より高島市民病院に赴任しました。よろしくお祈いします。</p> <p>(滋賀県歯科医師会・吉田) 歯科医師会として協力できることがありましたら、お申し付けください。</p> <p>(滋賀県薬剤師会・丹波) 今後、電子媒体(びわこあさがおネット等)を利用したパスの運用ができれば薬局も含めて情報の薬診連携がスムーズにできるのではと考えます。</p> <p>(滋賀県歯科衛生士会・新) 担当者変更となり、今年度より担当させていただきます。よろしくお祈いいたします。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>なし</p>

以上のとおり報告します。

令和4年6月27日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

地域連携部会 部会長 廣瀬 哲朗